

第1回自殺対策推進会議  
平成20年2月12日（火）  
内閣府

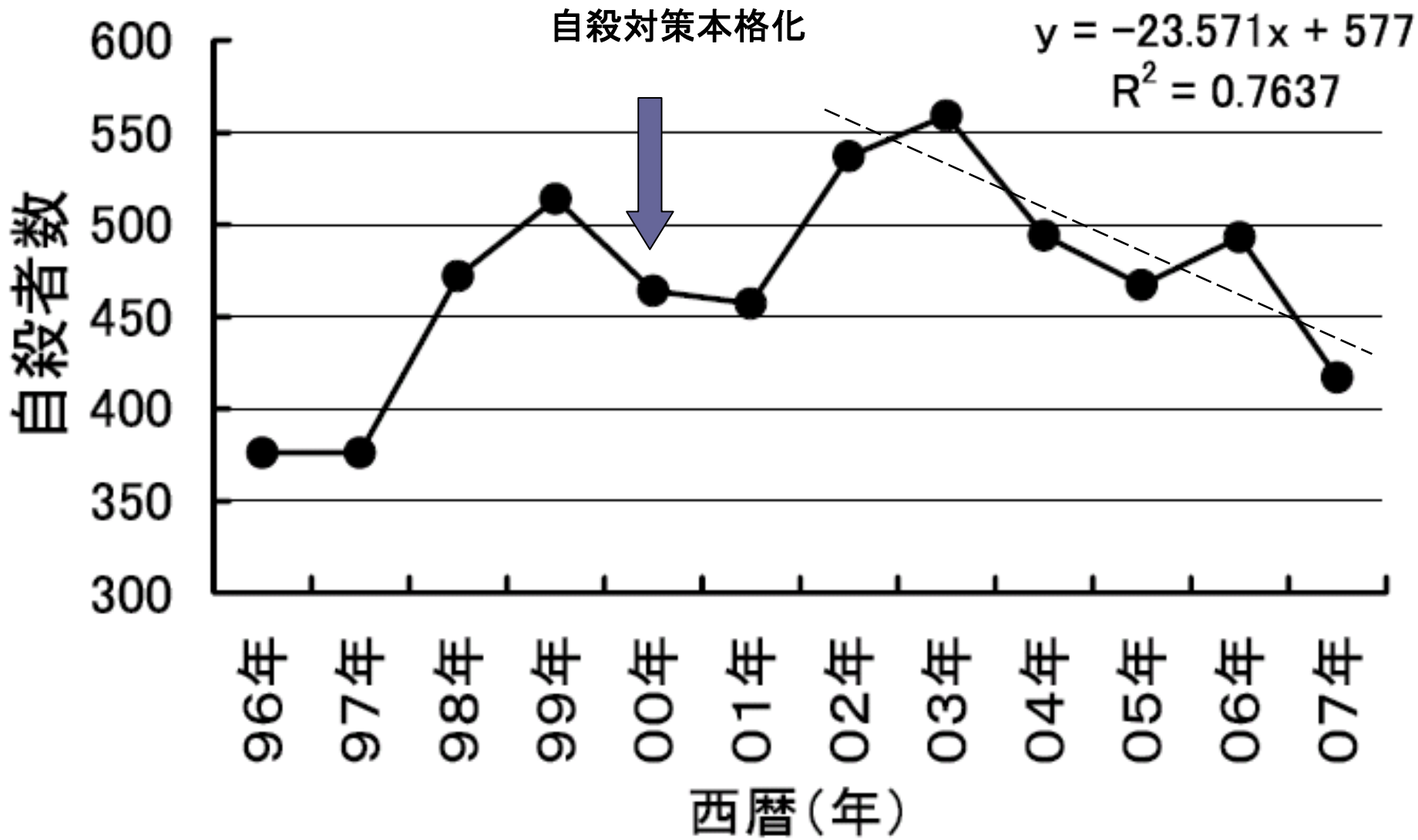
# 秋田県の自殺対策

市町村を巻き込んだ継続的かつ強力な  
自殺対策活動が自殺率の低下をもたらす

本橋 豊

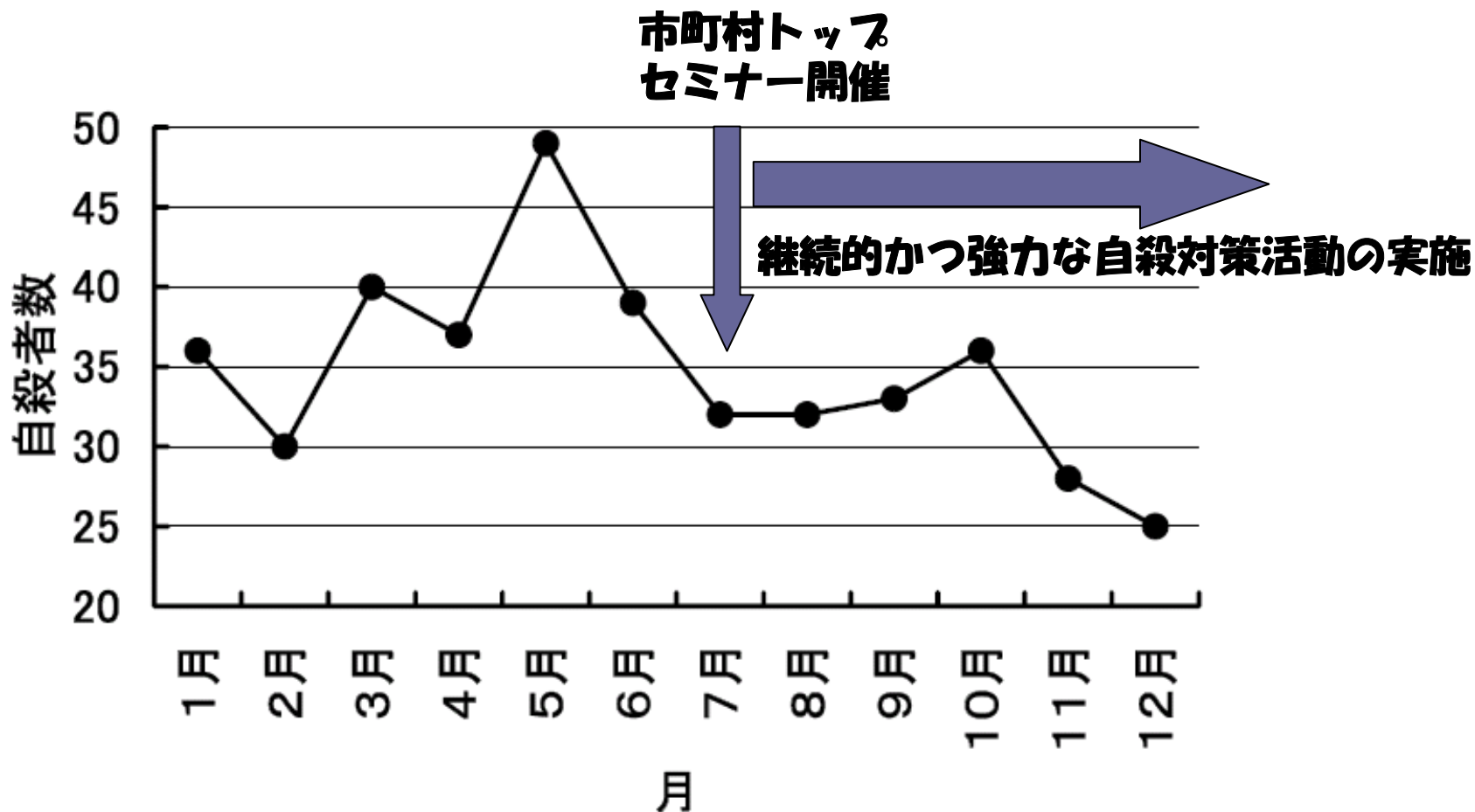
秋田大学医学部長

# 秋田県の自殺者数の推移(秋田県警)



# 平成19年の月別自殺者数の推移(秋田県)

前期は前年度比を上回る傾向であった。7月に開催された市町村トップセミナーが、市町村の自殺対策活動を活性化させるきっかけとなった。7月以降、官民学が一体となった自殺対策活動の強化により、自殺者数は減少傾向を示すようになった。



# 秋田県の自殺対策の評価

- 2003年から2007年にかけて、秋田県の自殺者数は漸減傾向にある。
- 2007年には前年度と比べて76人の減少を認めた。
- 近似曲線から、毎年約24人ずつ減少すると推定される。(5年で約120人の減少が予想される)
- 秋田県の自殺総合対策は確実に効果を現しつつある。
- 2007年後期の自殺者数の減少は、継続的かつ強力な自殺対策活動による効果と推測される。

# 平成19年に秋田県の自殺者数が減少した理由

## 市町村における自殺対策活動の強化

### メディアを巻き込んだ継続的かつ強力な啓発活動

- 平成19年7月以降の全県を挙げての自殺対策活動の強化  
(同年6月の人口動態統計にて自殺者数が増加したことを受けて)
- 自殺予防街頭キャンペーン実施(7月)
- 自殺予防に関する市町村トップセミナー実施(7月)  
(市町村トップの自殺対策への関心を高め、都市部での対策が強化された)
- 自死遺族支援全国キャラバンin 秋田(7月) 民間団体の連携
- 市町村予防モデル事業を全県に拡大する緊急措置(秋田県)
- 新聞社による定期的なキャンペーン記事の掲載(7月~12月)
- 秋田大学自殺予防学コース開講(11月~12月) 専門家研修
- 秋田県の自殺予防を考えるシンポジウム(岸厚生労働副大臣を迎えた対談、12月)、民間団体、県、大学の共催 (市民公開)
- 秋田県4大学協働2007自殺予防シンポジウム(12月)、民間団体主催 (市民公開)

# 自殺総合対策への提言

- 地域の継続的かつ強力な啓発活動を中心とする自殺対策により、県レベルで自殺者数減少の効果が認められる。
- 先行のgood practice（好事例）を参考にして、地域で実行可能な活動を開始することが大切である。
- 地域の月毎の自殺統計を速やかにフィードバックして、自殺対策へつなげるシステムを構築することが必要である。
- 医学的対策と平行して、経済生活問題対策を充実させていくことが大切である。